

ジェーミー

題名: 治癒

通路: ルカによる福音書 8:40-56 口語訳

論文: 私たちの必死の信仰と神の力が交差するところに奇跡が起こります。

おはようございます！

お知らせ

もう8月に入っているなんて信じられますか？夏はあっという間に過ぎて、ゆっくり休めると思っていた夏はとても充実していました。他に誰かいますか？

私には、ペースを落として休暇を取って、カレンダーには「何もない」という壮大な計画がありました。それから、私はそれを本当のスタイルで埋めました。夫も私も、ペースを落とす良いリズムを保っています。夕方、すべてが終わり、掃除が終わり、次の日のためにリセットされると、ソファに座ってショーを鑑賞します。最近、『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』と『フラッシュ』が両方とも公開されました。私たちはマーベルの家ですが、フラッシュの方が優れていると考えていました。

ここで一時停止し、「フラッシュ」映画のネタバレをこれから少しだけ述べたいと思います。今こそ、ここに留まるか去るかを決める時です。

さて、ショーに戻りましょう。

マーベルの世界では、ここ数本の映画やドラマはすべてタイムトラベルと多元宇宙に関するもので、「フラッシュ」を見ていると...不公平に思えたので、なんだか気分が悪いです。

基本的に、フラッシュは十分に速く走れば時間を遡ることができることを学習します。彼にとって、母親は彼が幼い頃に亡くなり、今では再び会うことができるため、これは重要です。良いタイムトラベルのプロットによくあることですが、過去の自分と対話することは想定されていません。なぜなら、何とか何とか、そして物語が展開するたびに、彼は別の世界に閉じ込められ、過去の自分と出会い、事態はひどく間違った方向に進んでいきます。フラッシュ 1 はト

ラウマから回復することができますが、フラッシュ 2 は他の主要キャラクターの死を阻止するために戻り続けます。フラッシュ 1 は、イベントの結果を何度変更しようとしても、特定のことが必ず起こることにすぐに気づきました。

避けられない交差点を彼らはそう呼ぶ

避けられない交差点とは、これから起こる、あるいは起こらなければならない時間内の出来事なので、何度でも時空を飛び越えれば、マイケル・キートン・バットマンは毎回死ぬことになる。

台無しにするつもりだったので警告しました。

一時停止。私は必然の交差点の神学を議論するつもりはありません (それを研究するのはとても楽しいでしょうが)、タイミングと目的を結びつけることについては非常に興味深いものがあります。

数年前、私は今日取り上げる物語を読んでいて、これらの癒しのタイミングが印象に残りました。「偶然」のように見えることは、この物語に登場する人々、そして私たち自身の欲望や期待を吟味する際に、より深い信仰へと誘う神聖な瞬間です。私たちが絶望と神の力の交差点に立たされたとき、何が起こるのでしょうか？

今日の物語は、4つの福音書のうちの3つに掲載されています。ルカによる福音書第 8 章 40-56 節を読んでいきます。

READ PASSAGE.

“イエスが帰ってこられると、群衆は喜び迎えた。みんながイエスを待ちうけていたのである。するとそこに、ヤイロという名の人 がきた。この人は会堂司であった。イエスの足もとにひれ伏して、自分の家においでくださるようにと、しきりに願った。彼に十二歳ばかりになるひとり娘があったが、死にかけていた。ところが、イエスが出て行かれる途中、群衆が押し迫ってきた。ここに、十二年間も長血をわずらっていて、医者のために自分の身代をみな使い果してしまっ たが、だれにもなおしてもらえなかった女がいた。この女がうしろから近寄ってみ衣のふさにさわったところ、その長血がたちまち止まってしまった。イエスは言われた、「わたしにさわったのは、だれか」。人々はみな自分ではないと言ったので、ペテロが「先生、群衆があなたを取り囲んで、ひしめき合っているのです」と答えた。しかしイエスは言われた、「だ

れかがわたしにさわった。力がわたしから出て行ったのを感じたのだ」。女は隠しきれないのを知って、震えながら進み出て、みまえにひれ伏し、イエスにさわった訳と、さわるとたちまちなおったこととを、みんなの前で話した。そこでイエスが女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」。イエスがまだ話しておられるうちに、会堂司の家から人がきて、「お嬢さんはなくなられました。この上、先生を煩わすには及びません」と言った。しかしイエスはこれを聞いて会堂司にむかって言われた、「恐れることはない。ただ信じなさい。娘は助かるのだ」。それから家にはいられるとき、ペテロ、ヨハネ、ヤコブおよびその子の父母のほかは、だれも一緒にはいって来ることをお許しにならなかった。人々はみな、娘のために泣き悲しんでいた。イエスは言われた、「泣くな、娘は死んだのではない。眠っているだけである」。人々は娘が死んだことを知っていたので、イエスをあざ笑った。イエスは娘の手を取って、呼びかけて言われた、「娘よ、起きなさい」。するとその霊がもどってきて、娘は即座に立ち上がった。イエスは何か食べ物を与えるように、さしずをされた。両親は驚いてしまった。イエスはこの出来事をだれにも話さないようにと、彼らに命じられた。”

ルカによる福音書 8:40-56 口語訳

ポイント1：時間

今日の奇跡の焦点である癒しについて話す前に、本当に重要なことを指摘しておきたいと思います。

女性は約12年間出血に見舞われ、死亡した少女は約12歳だった。

これは、12年前に何かが起こったことを意味します。最高の出来事: 娘が生まれたこと、そして最悪の出来事: 女性が病気になったことです。12年間、この二人の女性の人生はお互いに向かって進んでいきました。

しかし、彼らはそれを知りませんでした。

視点としては、女性の目は自分が癒されることを期待して前を向いていました。もちろん、彼女は自分が何を抱えているのかを認識しており、治療法を見つけるためにできる限りのことをしました。

少女は自分が死期を迎えているとは知らずに生きてきたのかもしれない。どちらも治癒の

奇跡に向かって進んでいます。

この二人の女性が、何年も前、ほぼ同時に起こった出来事から、同じ日に癒されたという事実は、癒しとは何かということについて私の目を開かせてくれました。

次ページへの導入: ヒーリングは悪い評価を受けることがあります。

ポイント 2 : 癒し。

今日この部屋にいる私たちの多くが、癒しについての教えや癒しへの期待によって教えられたり傷ついたりしてきたことを私は忘れていません。ここにいる全員に対して私がそれを解決するつもりはないと思いますが、少なくとも、これには多くの角度からのアプローチがあることを認識したいと思います。

私が聖書大学に通っていたとき、私たちはクラスの一つで癒しについて話したり、路上での癒しのビデオを見たりしていました。街頭で伝道者が誰かに近づき、「膝が痛いですね」と言うとします。そして手を置きながら「イエスの御名によって癒されますように。あなたはそのチクチク感を感じますか、その暖かさを感じますか？さあ、立ち上がって歩きましょう！」するとその人は泣き始め、立ち上がって歩き回り、「何日も歩くこともままならなかったのに、今は走れるようになりました！」と言いました。あるいは、教会の礼拝で牧師が、自分たちが抱えている具体的な事柄について人々に呼びかけ、癒されるようにと呼びかけます。それは壮大です。演劇的だ。

信じたいです。本当です。私はこれらを額面どおりに受け取り、畏敬の念と驚きの中で信仰を広げたいと思っていますが、それがすべて偽物だったと聞くことがあまりにも多いのです。それは俳優であり、その人は決して病気ではなく、牧師がその人の病歴を調べていました。

この種の話は、しばらくの間、私の信仰を本当に混乱させました。時々、それが本当に起こるとはまったく信じられないことに気づきました。また、正しい言葉で祈ったり、正しいことをしたりすれば、私が物語や奇跡を生み出すのだと思うこともありました。あなたもそこにいることに気づきましたか？長い間イエスに従い続けてきたなら、私たちはそれを理解したと思

ます。そして、私たちがイエスに従うのが初めての場合、私たちはその方法、つまり従うべき手順を探しています。もし私たちが豊かで健全な人生を約束されているとしたら、どうやってそこに到達するのでしょうか？

治癒とは、再び健康になる、または完全になるプロセスです。天の御国では、癒しは元に戻るのではなく、全体へと成長し、変換し、成り、変容することなのです。天の御国で私たちが目にする奇跡は、視覚、聴覚、立っていることだけではありません。これらの外側の兆候の上に天国のフィルムが重ねられています。

国宝、ベン・フランクリンのメガネ。レンズの配置に応じて、地図へのさまざまな手がかりが表示されます。

特定の組み合わせだけでも十分ですが、すべてを重ね合わせると全体像が見えてきます。

今日はこの2つの話を並べてご紹介します。彼らは独立して、出血から回復した女性、死から蘇った小さな女の子など、奇跡の素晴らしい例を私たちに示しています。しかし、私たちは一緒に、より全体像を掴むことができます。

女性が癒されました。しかし、私たちにはペテロの信仰の癒しもあります。イエスにおける神の力についての理解を拡大することによる全体性への彼の動き。イエスが彼女に話しかけられる間、群衆が立ち止まって静かになったかどうかはわかりませんが、彼女の証言によって町は癒されました。彼女はよく知られた汚れた者から、イエスの力を証しするために街を歩くようになりました。少女が生き返ったというのは明らかな癒しです。しかし、嘆き悲しむ人々の心は癒されました。ヤイロは会堂の役員です。教会の指導者たちはヤイロを通して癒しの瞬間を経験します。

私たちは、神が介入してほしいという絶対的な必要性和願望、そしてイエスのところに行けば何かが起こるかもしれないという期待を持って、絶望的な状況に直面しています。

私は数週間前にデイキャンプで3年生の小グループのリーダーを務めました。ある日、私たちはさまざまな人々の写真を配り、子供たちがそれぞれ一枚ずつ受け取るゲームをしました。彼

らは、カード上の人物についてあまり多くを明かさずに説明する必要がありました。最初の子供は行って「うーん」と言った。この人は手品をする人です。」彼が誰について説明していたかについて何か推測はありますか?そう、魔術師です。それはグループを巡り、最後の女の子がイエスを抱きました。私は彼女が何を言おうとしているのか非常に興味がありました。私は「神の子」か「十字架で死んだ」と思っていました。

彼女が言ったのは「この人はたくさんの奇跡を起こした」ということだった。

これがイエスの評判であり、それがその日、女性とヤイロがイエスのところに行った理由です。彼らは何かが起こるとは確信していませんでしたが、何かが起こる可能性があることは知っていました。

この日、彼らは必死だった。他に転機のないどん底。彼らは「どこに行けばいいのか?」と自問しました。「誰に向かって走ればいいのか?」そして彼らの記憶の中にイエスが現れました -

彼らはイエスを通して奇跡が起こるのをすでに見ていました。彼らはイエスの周りで見えてきたことから、イエスができることを信じていました。癒し、教え、存在。イエスが行くところどこでも、彼の周囲の生活が変化するという波及効果が起こりました。彼らがそれを認識していたかどうかに関係なく、この絶望感が信仰を生み出しました。信仰とは目に見えないものを信じることではありません。見えるものに基づいて見えないものを信じることです。

それで、この12年間の旅が終わりに近づいたとき、女性はサンダルを履き、男性はバッグをつかみ、絶望と期待を抱いてイエスに向かって進みました。

遷移: 彼らは何に遭遇するのでしょうか? 神の力。

ポイント3: 力。

46節で、イエスは誰かがイエスに触れた、それはイエスから力が出てしまったことを知ってい

ます。

これは考えるととても面白いシーンです。彼らは混雑した群衆の中をかりうじて歩くことができますが、イエスは誰かがイエスに触れたと言いました。もちろん、ピーターは、私が見下さずにどう反応するかを考えているでしょう。しかし、イエスが話している接触とは、転移のことです。それは衝突ではなく、信仰の範囲内です。

使徒行伝第2章でルカはヨエル書を引用しています。17節には「終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ」とあります。若者は幻を見、老人は夢を見るだろう。

すべての人に対する神の力、これは汚れた人、若者、疑う人、絶望的な人を意味します。

癒しは「すべてを理解した」人のためのものではありません。イエスは「悪人」の存在から「善良な」人たちを英雄にするために来たわけではありません。

彼は私たちの見方や期待を変えるために来られます。私たちの信仰を高めるためです。

私たちは、祈りが期待どおりに答えられることもあれば、予想外の形で祈りが答えられることもあります。重要なのは、そこから何かを得ることではなく、私たちの周りにある奇跡に目を向けることです。明らかなことを超えて、さらに大きな奇跡があります。神の力が明らかになり、人々に注がれるのです。

これは私たちが切実に必要としているものです。私たちには神の変革の力が必要です。

わかった。治癒は難しいです。回復は難しいです。完全になるプロセスは難しいです。

しかし、これが主の御心です。「あなたが完全になることです。」

神の力が神から溢れ出て、あなたの上にとどまるように。すべての人に安らぎを与えてください。

遷移: 奇跡が必要ですか？

動作:

神に向かって進みなさい。祈り、手を差し伸べ、ひざまずきます。主の力を受け取る姿勢を保つために、あなたがしなければならないことをしてください。それは、正しい言葉を言ったり、正しいことをすべて知ったりすることではなく、自分の心を探り、心の奥底で私たちは皆、聖霊に触れることを切望していることに気づくことです。

奇跡があなたを待っています。しかし、それを実現することはできません。あなたは強くも賢くもなく、十分な力もありません。出血を止めることも、死から蘇生することもできません。

しかし、神にはそれが可能です。

癒しが必要ですか？聞く。

もっと信仰が必要ですか？聞く。

どうやって乗り越えるのか見当もつかず、死んだもの、あるいは死にかけているものを見つめていませんか？御霊に来てくださるようお願いしてください。

私の小さなグループの女の子が、イエスは奇跡を行った人だと言いました。私はすぐにその機会をつかみました。「奇跡を経験した人はいますか？」と私は尋ねました。ある子供は「昔は暗闇が怖かったけど、祈ったらもうそれほど怖くなくなった」と言いました。もう一人は、かくれんぼをしているときにクローゼットに閉じ込められてしまい、祈ったところ、兄が来て助けてくれました。

私たちはグループとして、ある女の子に初めての聖書を渡すことになりました。そして私たちは皆で歓声を上げました。

それが大きいか小さいかは関係なく、主はあなたに会うのに最適な時期を選び、あなたに力を注いでくださいます。あなたが今いるこの季節が、あなたの奇跡の始まりかもしれません。あなたは12年かけて作っているかもしれません。信念を失わないでください。代わりに、自分自身が絶望的になるのを許してください。あなたの信仰を大胆にしてください。私たちの信仰が増すにつれて、神の力も増します。そしてその逆も同様です。神がご自身の力を私たちに明らかにするたびに、それは私たちの信仰を強めるためです。

私たちの絶望が信仰となり、神の力と交差すると何が起こるかがわかったと思います。本当に

美しいもの。奇跡。

残りの時間を使って対応していきます。誰かと一緒に参加したい場合は、名札を持っている人なら誰でも一緒に祈ることができます。自分で礼拝したり応答したりしたい場合は、自由にそうすることもできます。

ただし、どのような選択をする場合でも、チェックアウトしないでください。従事。神の力を受け取れる姿勢を整えてください。今、あなたに何かが起こるかどうかはわかりませんが、何かが起こると信じています。

応答の歌

私たちの箇所は、イエスが次の奇跡に移り、神の力が人々に注がれたままにされるところで終わります。

手を広げて祝福を受けてみませんか？

祝祷: 私たちが神の御霊の注ぎを切望する者となりますように。私たちが自分の人生に奇跡が起こることを期待できる人になれますように。

イエスの言葉「平和の神」